

令和4年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
分担研究報告書

就労制限を来たした慢性疼痛患者の就労支援に寄与する多角的包括的研究

研究分担者 高橋 紀代 篤友会千里山病院在宅医療センター センター長

研究要旨

働く女性が抱える痛みや就労に与える負の影響について明らかにする目的でインターネットアンケートを実施する。令和4年度は先行研究などの文献を収集し、課題抽出を行い、調査項目の選定を行った。「慢性痛に女性特有の健康障害が重なるとより就労障害が起こりやすい」という仮説を検証するアンケートを作成した。

A. 研究目的

インターネットを利用したアンケート調査を実施し、働く女性が抱える痛みや就労に与える負の影響について明らかにし、関連する学会で発表し、論文化すること。

B. 研究方法

アンケート実施に先立ち、先行研究などの文献を収集し、課題抽出を行い、調査項目の選定を行った。また、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンスや臨床研究に関する倫理指針に従い、調査を実施することに配慮している。

C. 研究結果

慢性痛の就労への影響の先行研究

(Wainwright, 2022 Mine, 2020

Barreto, 2019 Wada, 2013 Walter, 2003

他)は多数あり。更年期/PMSの就労への影響を調べた報告(株式会社ミュゼプラチナム調査, 2021 第一三共ヘルスケア, 2012 女性労働協会, 2004 他)も多数あり。

D. 考察

過去の研究では、慢性痛と女性特有の問題が就労にどのように影響しているかを調べたものが多数存在する。しかし、これらの研究の多くは慢性痛と女性特有の健康問題の両方を対象としたものは少なく、詳細な分析がなされていない。そのため、本調査では、「慢性痛

に女性特有の健康障害が重なるとより就労障害が起こりやすい」という仮説を検証する、アンケート項目を選定した。

E. 結論

働く女性が抱える痛みや就労に与える負の影響について明らかにする目的でインターネットアンケートを実施する。

そのため、先行研究などの文献を収集し、課題抽出を行い、調査項目の選定を行った。

「慢性痛に女性特有の健康障害が重なるとより就労障害が起こりやすい」という仮説を検証するアンケートを作成した。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G. 研究発表

1. 論文発表

今年度はなし

2. 学会発表

今年度はなし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし